

# よしながだより

vol4

## 夏に多い病気...皮っ疾患

梅雨～夏にかけては皮っ病が増える季節です!

その理由として、以下のことが考えられます。

- 雨や水遊びで被毛が濡れることが多く、皮っが蒸れやすい。
- 温度と湿度が高く、細菌が繁殖しやすい。
- 気温が高くなると、ノミやダニが大発生する。

今回は、夏に多くみられる代表的な皮っ疾患を紹介します。

### ①ノミアレルギー



ノミに刺されると、刺された部分にかゆみがかかります。そして、繰り返し刺されることにより、ノミの唾液中のタンパク質がアレルギーとなり、ノミアレルギーを発症します。

#### 症状

- 強いかゆみ
- 脱毛
- 発赤 など



#### 予防

ノミの予防薬をつけましょう。外に出るワンちゃん、ネコちゃんはもちろん、**家の中だけでもノミは発生します!**

## ② 急性湿疹

雨に濡れたり、水遊びをする機会が多くなるこれからの時期、「暑いから毛を乾かさなくても大丈夫…」と放っておくと、皮膚が蒸れて細菌性の急性湿疹を起こすことがあります。

### 症状

- 名前のとおり、急に発症するのが特徴です。
- 部分的に皮膚が真っ赤に炎症を起こし、脱毛します。

### 予防

体が濡れたら必ず乾かすようにしましょう。

被毛の根元まで乾かすことが大切です。

特に、長毛や毛が密に生えている犬種(ゴールデン・レトリバー、柴など)は要注意です。



## ③ 外耳炎

一年中 多く見られる病気ですが、特に梅雨の時期から増えてきます。

### 症状

- 耳のかゆみ
- 耳垢
- 悪臭
- 膿が出る
- 発赤

## 予防

耳の中が濡れた後に発生することも多いので、シャンプーをする時はコットンを耳につめるなど、耳に水が入らないようにしましょう。

垂れ耳や、耳毛の多い犬種（シーズー・ポードルなど）は外耳炎を起こしやすいので、普段から耳の中をチェックするようにしましょう。



## 耳そうじについて

耳に異常がない場合は、頻ぱんにそうじをする必要はありません。

正常な耳の中は、汚れを外に出す作用があるため、そうじをしすぎると、逆に耳垢がたまりやすくなったり、耳の中を傷つけてしまうことがあるからです。もし、臭いや汚れが気になることがあれば、以下の2つの方法がオススメです。

**方法1** 耳用の洗浄液をコットンにたっぷり濡くませ、指が届く範囲で優しく拭く。

綿棒はペットの耳には固すぎるのであまり使わないでね



**方法2** 洗浄液を直接耳の中に入れ、耳のつけ根を揉みます。その後、犬が頭を振ると中の汚れが表に出てくるので、コットンで拭き取ります。

